

注3

大学番号：023

9月14日差し替え版

[平成28年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

届出

宮城学院女子大学 生活科学部

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人宮城学院

平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 教育研究支援グループ

職名・氏名 ^{ワタナベ}渡邊 ^{ヒデトシ}秀俊

電話番号 022-279-4698

（夜間） 022-279-4698

F A X 022-279-7566

e-mail syomu@mgu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

生活科学部

<食品栄養学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	9
4. 既設大学等の状況	10
5. 教員組織の状況	12
6. 留意事項等に対する履行状況等	25
7. その他全般的事項	26

<生活文化デザイン学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	29
2. 授業科目の概要	33
3. 施設・設備の整備状況、経費	37
4. 既設大学等の状況	38
5. 教員組織の状況	40
6. 留意事項等に対する履行状況等	51
7. その他全般的事項	52

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人宮城学院

(2) 大学名

宮城学院女子大学

(3) 大学の位置

〒981-8557

宮城県仙台市青葉区桜ヶ丘九丁目1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(コバヤシ ノブオ) 小林 信夫 (平成25年1月)	(ミヤギ ミツノブ) 宮城 光信 (平成28年11月)	平成28年11月27日付任期満了のため(29)
学長	(ヒラカワ アラタ) 平川 新 (平成26年4月)		
学部長	(マサキ キョウスケ) 正木 恭介 (平成28年4月)	(ヤン シュアン) 巖 爽 (平成29年4月)	平成29年3月31日付任期満了のため(29)
学科長等	(ホシ ユウジ) 星 祐二 (平成28年4月)	(ササキ ルリコ) 佐々木 ルリ子 (平成29年4月)	平成29年3月31日付任期満了のため(29)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
生活科学部 食品栄養学科 学士(食品栄養学)	家政学関係	4年	100人	- 年次人	400人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	100人 100 () []	-人 - () []	100人 100 () []	-人 - () []	人 人 () []	人 人 () []	人 人 () []	人 人 () []	1.03倍	
志願者数	357 () []	- () []	279 () []	- () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
受験者数	352 () []	- () []	276 () []	- () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
合格者数	151 () []	- () []	176 () []	- () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
B 入学者数	99 () []	- () []	108 () []	- () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	0.99		1.08							

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	99 [-] (-)	- [-] (-)	109 [-] (1)	- [-] (-)							
2年次	/		97 [-] (-)	- [-] (-)							
3年次			/								
4年次	/										
計			99 [-] (-)		206 [-] (1)						

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	99 人	1 人	平成28年度	1 人	0 人	就学意欲の低下(1人)	1.01 %
			平成29年度	0 人	0 人		
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成29年度 入学者	108 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成30年度 入学者	- 人	- 人	平成30年度	人	人		- %
			平成31年度	人	人		
平成31年度 入学者	- 人	- 人	平成31年度	人	人		- %
合 計	207 人	1 人					0.48 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<生活科学部 食品栄養学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人文社会系科目	キリスト教学	1前	2								兼1	担当者変更のため(29) 担当者変更のため(28) オムニバス
	キリスト教と現代社会	1後	2								兼1	
	基礎演習	1前	2								兼25	
	日本語演習	1前	2								兼9	
	女性と人権	1前	2								兼10	
	音楽の世界	1前	2								兼1	
	社会保障と福祉	1後	2								兼2	
	教養講義A	1後	2								兼2	
	教養講義B	2前	2								兼8	
	特殊研究	3・4前・後		2							兼6	
キャリア形成論	4後			2						兼19		
日本国憲法	3前			2						兼1		
自然科学科目	自然科学入門	1前	2								兼1	
科目総合	総合コースA	2後		4							兼4	オムニバス
	総合コースB	2後		4							兼4	オムニバス
	総合コースC	2後		4							兼4	オムニバス
	総合コースD	2後		4							兼4	オムニバス
	総合コースE	2後		4							兼4	オムニバス
一般教育科目	英語コミュニケーションⅠ	1前	1								兼5	担当者変更のため(29)
	英語コミュニケーションⅡ	1後	1								兼4	担当者変更のため(28)
	英語リテラシーⅠ	2前	1								兼5	担当者変更のため(29)
	英語リテラシーⅡ	2後	1								兼4	担当者変更のため(28)
	スキルアップ英語	2・3・4前・後			1						兼5	担当者変更のため(28)
	ドイツ語コミュニケーションⅠ	1前			1						兼7	担当者変更のため(29)
	ドイツ語コミュニケーションⅡ	1後			1						兼4	担当者変更のため(28)
	ドイツ語リテラシーⅠ	1前			1						兼5	担当者変更のため(29)
	ドイツ語リテラシーⅡ	1後			1						兼7	担当者変更のため(29)
	フランス語コミュニケーションⅠ	1前			1						兼5	担当者変更のため(29)
	フランス語コミュニケーションⅡ	1後			1						兼7	担当者変更のため(29)
	フランス語リテラシーⅠ	1前			1						兼1	
	フランス語リテラシーⅡ	1後			1						兼1	
	中国語コミュニケーションⅠ	1前			1						兼1	
	中国語コミュニケーションⅡ	1後			1						兼1	
	中国語リテラシーⅠ	1前			1						兼4	
	中国語リテラシーⅡ	1後			1						兼4	
スキルアップドイツ語	2・3・4前・後			1						兼2	担当者変更のため(29)	
スキルアップフランス語	2・3・4前・後			1						兼2		
スキルアップ中国語	2・3・4前・後			1						兼3		
体育科目	体育講義	1前	1								兼1	
	体育実技	1前	1								兼1	
	シーズンスポーツ	1・2・3・4前・後			1						兼2	
	スポーツ	2・3・4後			1						兼1	
社会・環境と健康	食生活論	1前	1			1					兼1	オムニバス
	衣生活論	4前		2							兼1	
	住生活論	4後		2							兼1	
	家族論	4前		2							兼1	
	社会福祉論	1前・後	2								兼1	
	基礎情報処理実習	1前	1			1					兼1	
	栄養情報処理実習	1後	1								兼1	
	食料経済	3後		2							兼2	
	公衆衛生学	2前	2								兼1	
	臨床心理学	3後		2							兼1	
	栄養英語	2・3・4後		1		5	1				兼1	オムニバス

						6	3				
卒業研究	卒業研究基礎演習Ⅰ	3前	1			5	4				職位の変更のため(29)
	卒業研究基礎演習Ⅱ	3後	1			6	3				職位の変更のため(29)
	卒業研究演習Ⅰ	4前		2		5	4				職位の変更のため(29)
	卒業研究演習Ⅱ	4後		2		6	3				職位の変更のため(29)
	卒業研究	4通		4		5	4				職位の変更のため(29)
キャリア科目	キャリアデザイン	1・2・3・4前・後	1								兼1

- (注)
- ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
53	51	20	124	53	51	20	124	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注)
- ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{124} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が, 「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	宮城学院高等学校・宮 城学院中学校（必要面 積14,400㎡）と共用 （収容定員：高等学校 780名、中学校480名）					
	校舎敷地	99,918㎡	0㎡	35,862㎡	135,780㎡						
	運動場用地	0㎡	16,028㎡	0㎡	16,028㎡						
	小 計	99,918㎡	16,028㎡	35,862㎡	151,808㎡						
	そ の 他	42,941㎡	0㎡	0㎡	42,941㎡						
	合 計	142,859㎡	16,028㎡	35,862㎡	194,749㎡						
(2) 校 舎	専 用	34,281㎡	0㎡	0㎡	34,281㎡	大学全体					
	(34,281㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(34,281㎡)							
(3) 教 室 等	講 義 室	44室	演 習 室	15室	実験実習室	96室	情報処理学習施設	7室	語学学習施設	2室	大学全体
							(補助職員 0人)		(補助職員 0人)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称				室 数						
	生活科学部				16		室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機械・器具	標 本	蔵書の増刷による冊数及び 種類の増(28) ビデオやレコード媒体の 資料を整理したことによ る点数の減(28) 蔵書の増刷による冊数及 び種類の増(29) 洋雑誌の価格高騰により 購入予定数が減り、付随 する電子ジャーナルの数 が減少(29)			
		[うち外国書]	[うち外国書]								
	生活科学部	406,482 [106,077] 406,482 [100,656] 404,891 [100,387]	11,558 [922] 11,349 [915] 10,443 [898]	56 [7] 60 [7] 65 [0]	7,486 7,322 9,070	226	37				
		(406,482 [106,077]) (406,482 [100,656]) (404,891 [100,387])	(11,558 [922]) (11,349 [915]) (10,443 [898])	(56 [7]) (60 [7]) (62 [0])	(7,486) (7,322) (9,070)	(226)	(37)				
計	406,482 [106,077] 406,482 [100,656] 399,899 [104,804]	11,558 [922] 11,349 [915] 10,443 [898]	56 [7] 60 [7] 62 [0]	7,486 7,322 9,070	226	37					
	(406,482 [106,077]) (406,482 [100,656]) (399,899 [104,804])	(11,558 [922]) (11,349 [915]) (10,443 [898])	(56 [7]) (60 [7]) (62 [0])	(7,486) (7,322) (9,070)	(226)	(37)	学部単位での特定不能 なため大学全体の数				
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		書棚増設に伴う座席数 の減及び収納可能冊数 の増(28) 棚数増に伴う収納可能 冊数の増(29)				
	3,216㎡		269席 313席		346,778冊 346,056冊 333,583冊						
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要								
	1,737㎡		卓球場、温水プール、テニスコート、弓道場								
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費は、電子 ジャーナル、印刷製本 等の経費を含む 事業計画に基づく修正 (28)		
		教員1人当り研究費等	527千円 703千円	527千円 703千円	図書購入費	-	2,228千円 2,190千円	8,915千円 8,760千円			
		共同研究費等	6,000千円	6,000千円	設備購入費	-	336千円 1,750千円	1,344千円 7,000千円			
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	学生納付金改定(28)			
		1,350千円	1,110千円 1,070千円	1,110千円 1,070千円	1,110千円 1,070千円	-	-				
学生納付金以外の維持方法の概要			手数料、寄付金収入、補助金収入、資産運用収入、私立大学経常費補助金 等								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	宮城学院女子大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
生活科学部									
食品栄養学科	4	100	-	400	学士 (食品栄養学)	1.03	平成28年度	宮城県仙台市青葉区 桜ヶ丘9-1-1	
生活文化デザイン学科	4	60	-	240	学士 (生活文化デザイン学)	0.96	平成28年度	同上	
教育学部									
教育学科	4	170	-	680	学士 (教育学)	1.07	平成28年度	同上	
幼児教育専攻	4	90	-	360	学士 (教育学)	0.99	平成28年度	同上	
児童教育専攻	4	50	-	200	学士 (教育学)	1.15	平成28年度	同上	
健康教育専攻	4	30	-	120	学士 (教育学)	1.20	平成28年度	同上	
現代ビジネス学部									
現代ビジネス学科	4	95	-	380	学士 (ビジネス学)	1.04	平成28年	同上	
学芸学部									
日本文学科	4	100	-	400	学士 (日本文学)	0.99	昭和39年度	同上	
英文学科	4	70	-	280	学士 (英文学)	0.98	昭和24年度	同上	
人間文化学科	4	70	-	280	学士 (人間文化学)	0.75	平成7年度	同上	
心理行動科学科	4	60	-	240	学士 (心理学)	1.10	平成19年度	同上	
音楽科	4	25	-	100	学士 (音楽)	0.76	昭和24年度	同上	
国際文化学科	4	-	-	-	学士 (国際文化学)	-	平成12年度	同上	平成28年度学生募集停止
食品栄養学科	4	-	-	-	学士 (食品栄養学)	-	平成12年度	同上	平成28年度学生募集停止
生活文化デザイン学科	4	-	-	-	学士 (生活文化デザイン学)	-	平成12年度	同上	平成28年度学生募集停止
発達臨床学科	4	-	-	-	学士 (発達臨床学)	-	平成12年度	同上	平成28年度学生募集停止
児童教育学科	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	平成19年度	同上	平成28年度学生募集停止
人文科学研究科									
英語・英米文学専攻	2	4	-	8	修士 (英文学)	0.00	平成7年度	同上	
日本語・日本文学専攻	2	4	-	8	修士 (日本文学)	0.37	平成7年度	同上	
人間文化学専攻	2	4	-	8	修士 (人間文化学)	0.62	平成11年度	同上	
生活文化デザイン学専攻	2	4	-	8	修士 (生活文化デザイン学)	0.12	平成17年度	同上	
健康栄養学研究科									
健康栄養学専攻	2	4	-	8	修士 (健康栄養学)	1.25	平成20年度	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<生活科学部 食品栄養学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	正木 恭介 (58)	平成28年4月	栄養英語 生化学Ⅰ 栄養評価実験 ライフステージと栄養 管理栄養士演習 食品開発論 卒業研究基礎演習Ⅰ 卒業研究基礎演習Ⅱ 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究						
専	教授	星 祐二 (60)	平成28年4月	基礎情報処理実習 栄養英語 食品化学Ⅰ 食品化学Ⅱ 食品学実験Ⅰ 食品理化学実験 管理栄養士演習 食品物性学 卒業研究基礎演習Ⅰ 卒業研究基礎演習Ⅱ 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究						
専	教授	齋藤 淑子 (67)	平成28年4月	栄養英語 解剖生理学Ⅰ 解剖生理学Ⅱ 診察診療学Ⅰ 診察診療学Ⅱ 管理栄養士演習 卒業研究基礎演習Ⅰ 卒業研究基礎演習Ⅱ 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究						
専	教授	平本 福子 (64)	平成28年4月	食生活論 栄養英語 調理学実習Ⅰ 調理学実習Ⅱ 管理栄養士演習 卒業研究基礎演習Ⅰ 卒業研究基礎演習Ⅱ 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究						

専	教授	矢内 信昭 (61)	平成28年4月	栄養英語 生化学Ⅱ 分子栄養学 生化学実験Ⅰ 生化学実験Ⅱ 管理栄養士演習 卒業研究基礎演習Ⅰ 卒業研究基礎演習Ⅱ 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究						
専	准教授	伊藤 佳代子 (57)	平成28年4月	公衆栄養学 地域栄養活動論 公衆栄養活動実習 管理栄養士総合演習Ⅰ 管理栄養士総合演習Ⅱ 管理栄養士演習 公衆栄養学臨地実習Ⅰ 公衆栄養学臨地実習Ⅱ 卒業研究基礎演習Ⅰ 卒業研究基礎演習Ⅱ 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究						
専	准教授	佐々木 ルリ 子 (55)	平成28年4月	栄養学実習 給食経営管理論Ⅰ 給食経営管理論Ⅱ 給食経営管理実習 管理栄養士総合演習Ⅰ 管理栄養士総合演習Ⅱ 管理栄養士演習 給食経営管理論臨地実習Ⅰ 給食経営管理論臨地実習Ⅱ 卒業研究基礎演習Ⅰ 卒業研究基礎演習Ⅱ 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究	教授					平成28年4月1日付昇任による職名の変更(28)
専	准教授	鎌田 由香 (50)	平成28年4月	栄養英語 臨床栄養学Ⅰ 臨床病態栄養学 臨床栄養学実習Ⅰ 臨床栄養学実習Ⅱ 管理栄養士総合演習Ⅰ 管理栄養士総合演習Ⅱ 管理栄養士演習 臨床栄養学臨地実習Ⅰ 臨床栄養学臨地実習Ⅱ 実践栄養管理 卒業研究基礎演習Ⅰ 卒業研究基礎演習Ⅱ 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究						

専	准教授	丹野 久美子 (48)	平成28年4月	栄養教育論の基礎 栄養教育論Ⅰ 栄養教育論基礎実習 栄養教育論実習Ⅰ 栄養教育論実習Ⅱ 管理栄養士総合演習Ⅰ 管理栄養士総合演習Ⅱ 管理栄養士演習 学校栄養教育指導論 卒業研究基礎演習Ⅰ 卒業研究基礎演習Ⅱ 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究						
兼担	教授	竹久 文之 (70)	平成28年4月	食品学実験Ⅱ 基礎栄養学 応用栄養学概論	専	准教授	後藤 知子 (44)	平成29年4月	基礎栄養学	担当者変更のため (29)
兼担	教授	飯淵 康一 (69)	平成28年4月	住生活論						
兼担	教授	渡辺 徹 (68)	平成28年4月	教養講義B						
兼担	教授	鈴木 雅之 (68)	平成28年4月	教養講義B						
兼担	教授	浅野(上野) 富美枝 (67)	平成28年4月	家族論	兼担	准教授	藤田 嘉代子 (47)	平成29年4月	家族論	平成29年3月担当者退職のため変更 (29)
兼担	教授	菊池 勇夫 (65)	平成28年4月	基礎演習 教養講義A 特殊研究 総合コースA						
兼担	教授	高田 紀代志 (65)	平成28年4月	基礎演習 特殊研究	兼担	准教授	栗原 健 (42)	平成29年4月	基礎演習 特殊研究	平成29年3月担当者退職のため変更 (29)
兼担	教授	森 雅彦 (64)	平成28年4月	基礎演習 教養講義A 特殊研究						
兼担	教授	伊狩 弘 (64)	平成28年4月	基礎演習 教養講義B						
兼担	教授	熊谷 優克 (64)	平成28年4月	特殊研究					英語リテラシーⅠ 英語リテラシーⅡ	担当科目追加のため (29)
兼担	教授	高橋 英博 (63)	平成28年4月	特殊研究						
兼担	教授	田中 史郎 (63)	平成28年4月	教養講義A						
兼担	教授	J. F. モリス (63)	平成28年4月	基礎演習 教養講義A						
兼担	教授	新免 貢 (62)	平成28年4月	キリスト教と現代社会 基礎演習 特殊研究 総合コースE						

兼担	教授	山岸 喜久治 (62)	平成28年4月	教養講義 A 特殊研究 日本国憲法						
兼担	教授	熊坂 聡 (61)	平成28年4月	社会保障と福祉						
兼担	教授	佐々木 隆之 (61)	平成28年4月	教養講義 B	兼担	准教授	森 康浩 (32)	平成29年4月	教養講義 B	担当者変更のため (29)
兼担	教授	大平 聡 (60)	平成28年4月	総合コース A						
兼担	教授	天童 睦子 (59)	平成28年4月	女性と人権 キャリア形成論 キャリアデザイン						
兼担	教授	八木 祐子 (57)	平成28年4月	教養講義 A	兼担	教授	市野澤 潤平 (46)	平成29年4月	教養講義 A	担当者変更のため (29)
兼担	教授	戸野塚 厚子 (56)	平成28年4月	基礎演習						
兼担	教授	大内 典 (56)	平成28年4月	基礎演習						
兼担	教授	工藤 敏巳 (55)	平成28年4月	体育講義 シーズンスポーツ スポーツ						
兼担	教授	志村 文隆 (54)	平成28年4月	基礎演習 総合コース A						
兼担	教授	九里 順子 (54)	平成28年4月	基礎演習						
兼担	教授	豊澤 弘伸 (54)	平成28年4月	基礎演習						
兼担	教授	今林 直樹 (53)	平成28年4月	特殊研究						
兼担	教授	田中 一裕 (52)	平成28年4月	基礎演習 特殊研究 自然科学入門 総合コース B						
兼担	教授	大久保 尚子 (52)	平成28年4月	教養講義 B 衣生活論						
兼担	教授	深澤 昌夫 (52)	平成28年4月	特殊研究						
兼担	教授	小山 和彦 (51)	平成28年4月	基礎演習						

兼担	教授	なかにし (辻) あか ね (51)	平成28年4月	音楽の世界						
兼担	教授	近松 健 (51)	平成28年4月	基礎演習 特殊研究 総合コースB						
兼担	教授	本間 義規 (47)	平成28年4月	基礎演習						
兼担	教授	土屋 純 (45)	平成28年4月	教養講義A						
兼担	教授	敵(石井) 爽 (45)	平成28年4月	基礎演習						
兼担	教授	大橋 智樹 (45)	平成28年4月	特殊研究						
兼担	教授	小羽田 誠治 (40)	平成28年4月	基礎演習 特殊研究 スキルアップ中国語						
兼担	准教授	村野 敬一郎 (58)	平成28年4月	基礎演習						
兼担	准教授	石川 隆 (57)	平成28年4月	基礎演習		教授				平成28年4月1日付昇任による職名の変更(28)
兼担	准教授	木村 春美 (56)	平成28年4月	基礎演習 特殊研究 英語リテラシーⅠ 英語リテラシーⅡ						
										スキルアップ英語 担当科目追加のため(29)
兼担	准教授	増富 和浩 (54)	平成28年4月	総合コースD						
兼担	准教授	杉井 信 (53)	平成28年4月	特殊研究						
兼担	准教授	井坂(松川) 恵 (52)	平成28年4月	音楽の世界						
兼担	准教授	須田 真史 (48)	平成28年4月	基礎演習						
兼担	准教授	松村 光太郎 (48)	平成28年4月	特殊研究	兼任	准教授	安田 直民 (44)	平成28年4月	特殊研究	平成27年9月退職による担当者の変更(28)
兼担	准教授	間瀬(箕輪) 幸江 (47)	平成28年4月	基礎演習 特殊研究 総合コースD スキルアップフランス語						
兼担	准教授	太田 峰夫 (46)	平成28年4月	基礎演習 教養講義B						
兼担	准教授	市野澤 潤平 (45)	平成28年4月	特殊研究						

兼担	准教授	木口 寛久 (43)	平成28年 4 月	基礎演習 英語リテラシーⅠ 英語リテラシーⅡ スキルアップ英語						
兼担	准教授	越門 勝彦 (42)	平成28年 4 月	教養講義 A 総合コース B						
兼担	准教授	李 敬淑 (34)	平成28年 4 月	基礎演習						
兼担	助教	篠原 秀典 (32)	平成28年 4 月	体育実技 シーズンスポーツ						
兼任	講師	花井 弘美 (70)	平成28年 4 月	日本語演習						
兼任	講師	岩川 亮 (70)	平成28年 4 月	スキルアップフランス語						
兼任	講師	和田 安郎 (69)	平成28年 4 月	食品衛生学 食品衛生学実験 微生物学						
兼任	講師	岩川 直子 (69)	平成28年 4 月	ドイツ語コミュニケーションⅠ ドイツ語コミュニケーションⅡ						
兼任	講師	大島 徹 (69)	平成28年 4 月	ドイツ語リテラシーⅠ ドイツ語リテラシーⅡ スキルアップドイツ語					スキルアップドイツ語	担当科目削除のため (29)
兼任	講師	大久 長範 (67)	平成28年 4 月	食品加工・素材学 食品加工学実習						
兼任	講師	大島 衣 (67)	平成28年 4 月	総合コース C スキルアップドイツ語						
兼任	講師	Monika Kurokawa (67)	平成28年 4 月	スキルアップドイツ語						
兼任	講師	御代田 恭子 (66)	平成28年 4 月	公衆衛生学						
兼任	講師	佐上 博 (66)	平成28年 4 月	栄養基礎化学Ⅱ						
兼任	講師	鹿野 良子 (66)	平成28年 4 月	日本語演習						
兼任	講師	菅原 耕一 (65)	平成28年 4 月	日本語演習	兼任	講師	菅原 秀 (46)	平成28年 4 月	日本語演習	担当者変更のため
兼任	講師	藤本 由紀子 (65)	平成28年 4 月	栄養学実習						
兼任	講師	Anthony Smith (65)	平成28年 4 月	スキルアップ英語	兼任	講師	オーフラロティ 智美 (38)	平成29年 4 月	スキルアップ英語	担当者変更のため (29)
兼任	講師	三浦 友悦 (64)	平成28年 4 月	特殊研究						

兼任	講師	鎌田 慶朗 (64)	平成28年4月	基礎情報処理実習 食品理化学実験							
兼任	講師	飯淵 由美 (64)	平成28年4月	栄養学実習							
兼任	講師	八幡 悦子 (64)	平成28年4月	総合コースC							
兼任	講師	谷田部 武男 (64)	平成28年4月	総合コースD							
兼任	講師	板垣 信哉 (64)	平成28年4月	英語リテラシーⅠ 英語リテラシーⅡ	兼任	講師	酒井 孝之 (53)	平成29年4月	英語リテラシーⅠ 英語リテラシーⅡ	担当者変更のため(29)	
兼任	講師	佐藤 喜根子 (64)	平成28年4月	総合コースB							
兼任	講師	細倉 公一 (63)	平成28年4月	日本語演習	兼任	講師	細倉 公一 (63)	平成28年4月	日本語演習	平成28年3月辞退のため (28)	
兼任	講師	Chutatip Yumitani (63)	平成28年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ							
兼任	講師	富田 昇 (63)	平成28年4月	中国語リテラシーⅠ 中国語リテラシーⅡ							
兼任	講師	金子 孝一 (62)	平成28年4月	給食経営管理論Ⅱ							
兼任	講師	氏家 幸子 (62)	平成28年4月	学校栄養教育概論 学校栄養教育指導論							
兼任	講師	澤口 真規子 (62)	平成28年4月	地域栄養活動論	兼任	講師	澤口 真規子 (62)	平成28年4月	地域栄養活動論	平成28年3月辞退のため(29)	
兼任	講師	岩崎 利次 (61)	平成28年4月	社会保障と福祉							
兼任	講師	屈(屈原) 明昌 (60)	平成28年4月	中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ スキルアップ中国語							
兼任	講師	只野 勝恵 (59)	平成28年4月	栄養学実習							
兼任	講師	永沼 孝子 (59)	平成28年4月	食品学実験Ⅰ							
兼任	講師	藤井 久雄 (59)	平成28年4月	ライフスタイルと栄養							
兼任	講師	付 小京 (59)	平成28年4月	中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ							
兼任	講師	上條 晴夫 (58)	平成28年4月	食生活論							

兼任	講師	萩野 顕彦 (58)	平成28年 4 月	栄養情報処理実習						
兼任	講師	岡本 智子 (56)	平成28年 4 月	実践栄養管理						
兼任	講師	三國 克彦 (56)	平成28年 4 月	食品開発論			後任未定			逝去のため変更 (29) 「食品開発論」は他に2名担当 教員がいるため、採用予定なし
兼任	講師	佐藤 雅也 (56)	平成28年 4 月	総合コース A						
兼任	講師	西川 正純 (56)	平成28年 4 月	食品機能学						
兼任	講師	原田 等 (55)	平成28年 4 月	食品開発論						
兼任	講師	佐々木 裕子 (55)	平成28年 4 月	栄養教育論実習Ⅱ						
兼任	講師	瀬戸 由美 (55)	平成28年 4 月	実践栄養管理						
兼任	講師	鈴木 裕行 (55)	平成28年 4 月	栄養学実験						
兼任	講師	三原 法子 (54)	平成28年 4 月	臨床栄養学実習Ⅱ						
兼任	講師	柴田 近 (54)	平成28年 4 月	臨床病態栄養学						
兼任	講師	邑本 俊亮 (54)	平成28年 4 月	総合コース D						
兼任	講師	冬木 勝仁 (53)	平成28年 4 月	食料経済						
兼任	講師	内田 幸雄 (53)	平成28年 4 月	社会福祉論						
兼任	講師	白川 仁 (53)	平成28年 4 月	栄養情報処理実習						
兼任	講師	児山 香 (53)	平成28年 4 月	臨床病態栄養学						
兼任	講師	早坂 朋恵 (52)	平成28年 4 月	臨床栄養学実習Ⅰ 実践栄養管理						
兼任	講師	上羽 広明 (52)	平成28年 4 月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ スキルアップ英語					英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	担当科目削除のため (28)
兼任	講師	小原 豊志 (52)	平成28年 4 月	英語リテラシーⅠ 英語リテラシーⅡ スキルアップ英語					英語リテラシーⅠ 英語リテラシーⅡ	担当科目削除のため (29)

兼任	講師	加藤 久美子 (52)	平成28年4月	英語リテラシーⅠ 英語リテラシーⅡ スキルアップ英語					英語リテラシーⅠ 英語リテラシーⅡ スキルアップ英語 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	担当者変更のため(29)
兼任	講師	趙 秀敏 (52)	平成28年4月	中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ						
兼任	講師	鳩原 淳子 (51)	平成28年4月	学校栄養教育指導論						
兼任	講師	新出 真理 (51)	平成28年4月	栄養教育論Ⅱ						
兼任	講師	熊本 裕行 (51)	平成28年4月	病理学						
兼任	講師	藤田 宏紀 (51)	平成28年4月	キリスト教学	兼任	准教授	栗原 健 (42)	平成29年4月	キリスト教学	担当者変更のため(29)
兼任	講師	関根 多美 (51)	平成28年4月	日本語演習						
兼任	講師	小笠原 初恵 (50)	平成28年4月	臨床栄養学Ⅱ 臨床栄養学Ⅲ	兼任	講師	高橋 文 (45)	平成29年4月	臨床栄養学Ⅱ	担当者変更のため(29)
兼任	講師	木村 敏明 (50)	平成28年4月	総合コースE						
兼任	講師	伊勢 恵 (50)	平成28年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ スキルアップ英語	兼任	講師	伊勢 恵 (50)	平成28年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ スキルアップ英語	担当者変更のため(29)
兼任	講師	大西 克巳 (50)	平成28年4月	スキルアップ中国語						
兼任	講師	阿部 裕子 (49)	平成28年4月	栄養学実習						
兼任	講師	佐々木 賢哉 (49)	平成28年4月	学校栄養教育概論						
兼任	講師	佐伯 千春 (48)	平成28年4月	実践栄養管理						
兼任	講師	藤村 維子 (47)	平成28年4月	栄養基礎化学Ⅰ	兼任	講師	佐上 博 (67)	平成29年4月	栄養基礎化学Ⅰ	担当者変更のため(29)
兼任	講師	Jim Smiley (47)	平成28年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	兼任	講師	Anthony Smith (65)	平成28年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	担当者変更のため(28)
兼任	講師	翠川 博之 (47)	平成28年4月	フランス語リテラシーⅠ フランス語リテラシーⅡ						
兼任	講師	張 立波 (47)	平成28年4月	中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ						

兼任	講師	西村 直子 (46)	平成28年 4 月	総合コース E						
兼任	講師	木村 美紀子 (44)	平成28年 4 月	日本語演習						
兼任	講師	佐藤 千穂 (44)	平成28年 4 月	日本語演習						
兼任	講師	増井 三千代 (44)	平成28年 4 月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ スキルアップ英語						
兼任	講師	谷山 洋三 (44)	平成28年 4 月	総合コース E						
兼任	講師	森口 茂樹 (42)	平成28年 4 月	薬理概論						
兼任	講師	高橋 秀太郎 (41)	平成28年 4 月	日本語演習	兼任	講師	坂喜 美佳 (30)	平成28年 4 月	日本語演習	担当者変更のため (28)
							後任未定			平成29年3月担当者辞退のため (29) 「日本語演習」は他に8クラス開講しているため、支障はない。
兼任	講師	野中 (平手) みどり (41)	平成28年 4 月	フランス語コミュニケーションⅠ フランス語コミュニケーションⅡ スキルアップフランス語						
兼任	講師	久保 順也 (39)	平成28年 4 月	臨床心理学						
兼任	講師	木曾 (大和 田) 恵子 (39)	平成28年 4 月	総合コース C						
兼任	講師	岩田 教子 (38)	平成28年 4 月	栄養教育論基礎実習						
兼任	講師	菅原 尚樹 (36)	平成28年 4 月	中国語リテラシーⅠ 中国語リテラシーⅡ						
兼任	講師	河内 聡子 (34)	平成28年 4 月	日本語演習						
兼任	講師	渡部 容子 (34)	平成28年 4 月	総合コース C	兼任	講師	高橋 芳代子 (38)	平成29年4月	総合コース C	担当者変更のため (29)
兼任	講師	岸本 洋輔 (33)	平成28年 4 月	日本語演習	兼任	講師	渡邊 美希 (29)	平成29年4月	日本語演習	担当者変更のため (29)
					兼任	講師	藤掛 由実子 (55)	平成29年4月	英語リテラシーⅠ 英語リテラシーⅡ スキルアップ英語	担当者変更のため (29)
					兼任	講師	木村 真紀子 (57)	平成29年4月	英語リテラシーⅠ 英語リテラシーⅡ	担当者変更のため (29)
					兼任	講師	目黒 志帆美 (39)	平成29年4月	英語リテラシーⅠ 英語リテラシーⅡ	担当者変更のため (29)
					兼任	講師	オーフラロ ティ 智美 (38)	平成29年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	担当者変更のため (29)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
9	5
名	名

- (注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在(報告書提出時)の状況					現在(報告書提出時)の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
5	4	0	0	9	6	4	0	0	10	6	4	0	0	10
(6)	(3)	(0)	(0)	(9)						[1]	[0]	[0]	[0]	[1]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 - ・ 「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(A))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
67	1	2
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
合計（A）					後任補充状況の集計（B）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計（C）					後任補充状況の集計（D）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（A）+（C）					後任補充状況の集計（B）+（D）					
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (28年 5月)	完成年度前に、定年規定に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規定の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	留意事項	完成年度までに定年に達する者を配置することから、完成年度以後の教員組織構想としては、開設後4年間の中堅及び若手教員の育成状況を踏まえた学内昇格や新規採用など、教員組織に関する中期的な人事計画を策定することとしている。 また、定年延長教員の退職に伴う教員採用については、他の大学等の現任教員や現在、大学院の修士課程や博士課程に在学している者を対象として広く候補者を募ることとし、本学の教員選考規程等で定める審査基準に基づいて、厳格なる審査を経て採用することとしている。
	学芸学部人間文化学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。		
設置計画履行状況 調 査 時 (29年2月)	生活科学部食品栄養学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見	完成年度までに定年に達する者2人を配置することから、完成年度以後の教員組織構想としては、開設後4年間の中堅及び若手教員の育成状況を踏まえた学内昇格や新規採用など、教員組織に関する中期的な人事計画を策定することとしている。そうしたことから、教育研究の継続性および専門性を踏まえ、教育研究に支障のない教員組織を編成するため、学科の意見をもとに適正な人員の補充計画等の検討を実施した。
	同一設置者が設置する既設学部等（学芸学部人間文化学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<生活科学部 食品栄養学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ・ 2016年4月より、大学組織改編に伴い「宮城学院Faculty Development推進委員会」を宮城学院女子大学教務センターの小委員会である「FD推進委員会」として設置。委員会規程は別添。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 2017年度は3回開催

c 委員会の審議事項等

- ・ 本学の教育に係る状況の把握
- ・ 授業評価アンケート実施方法について
- ・ 効果的なFD企画の検討
- ・ FD企画の実施
- ・ その他、本学のFDの推進に関する事項

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 学生による個別授業評価アンケートの実施
- ・ 学生による大学満足度アンケートの実施
- ・ 学生への学修実態調査の実施
- ・ 学内研修会の開催
- ・ FD通信の発行

b 実施方法

- ・ ポータルサイトを通して、学生による各種アンケートを実施。
- ・ FDに関する研修会を企画し実施。
- ・ FD通信は委員会・研修会・各種アンケート結果の内容を盛り込み、適時発行

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・学生による個別授業評価アンケートは前期・後期の最終授業までに各教員が実施
- ・前後期学期末に、学生へ学修実調査を実施
- ・学生による大学満足度アンケートは卒業判定後に、卒業生を対象に実施
- ・学内における研修会

2016年6月7日「宮城学院女子大学の授業評価制度の現状と課題」 学長戦略室と共催

2016年7月6日「2015年度個別授業評価 教員所属学科別平均データの分析」・「COC+」に係るFD研修会 学長戦略室と共催

2016年8月3日「『教育の質保障』実践セミナー報告」学長戦略室と共催

2016年9月21日「発達障害のある学生について」 学生相談・特別支援センター運営会議と共催

2016年10月19日「インターネットの危険と対策 ソーシャルネットワーク(SNS)に潜むトラブルを未然に防ぐために」
ハラスメント防止委員会と共催

2016年11月16日「他大学の教育改革事例に学ぶ:共愛学園前橋国際大学」 学長戦略室と共催

2016年12月14日「聴覚障害や視覚障害等の特別支援について」・「精神障害の特別支援について」
学生相談・特別支援センター運営会議と共催

2017年1月25日「東日本大学間連携組織『FDネットワーク“つばさ”概略」

2017年2月9日「三つのポリシーの策定・公表の義務化 研修会報告」 学長戦略室と共催

2017年2月22日「志願者確保のための心理行動科学科の取り組み」 学長戦略室と共催

2017年3月11日「現代ビジネス学科での1年～「現代ビジネス基礎Ⅰ」を通して～」

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

個別授業評価アンケートを実施し、各教員がその結果をそれぞれの授業改善に役立っている。また学生の学修についてもアンケート調査を行い、学内で共有している。

学内研修会の開催により、情報を共有し、共通の意識をもって組織的に改善に取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・前期と後期それぞれで専任教員の講義形式の授業を対象に実施

b 教員や学生への公開状況, 方法等

- ・各教員へ報告書を配布

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

食品栄養学科では、食品栄養学分野に関する教育研究を通して、「食生活と栄養管理の観点から、人々の健康の維持・増進を図る能力と実践的な態度を有した職業人の養成を目指すことにより、地域社会の保健・医療・福祉サービスの発展と向上に寄与する」ことを教育研究上の目的としている。

開設2年目となる今年度の入学者は108名であった。アドミッションポリシーおよび学科定員遵守を念頭におき、入学者選抜試験の実施・合否判定を行い、入学定員100名とほぼ同数の入学者を得た。

食品栄養学科の教育課程編成は、既設の学芸学部食品栄養学科において展開してきた食品栄養学分野の教育内容を基盤として、「食品栄養学の学問体系の理解の基に、健康と食生活とのかかわりについて理解し、食品や栄養に関する専門的な知識と技術の習得とそれらを総合的に実践する応用能力を身に付けるとともに、食生活の充実と向上を図る能力と態度を有して、家庭や地域における食育や栄養管理の推進に貢献できる人材の養成」を目指したものとなっており、開設1年目となる今年度は、専門分野の基礎となる「社会・環境と健康」「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」「食べ物と健康」領域の科目群（専門基礎分野系科目）を中心に開講している。また、管理栄養士としての実践力醸成に関わる専門分野の授業科目（専門分野系科目群）のうち、特に基礎的内容の濃い講義・実習科目（「基礎栄養学」「栄養教育論の基礎」「栄養教育論基礎実習」）も開講し、2年次以降の学修につなげることを意図している。

次年度は、専門基礎分野系科目群に加え、専門分野系科目群の一部も併行して開講することとし（「栄養教育論」「栄養教育論実習」「給食経営管理論」「給食経営管理論実習」「臨床栄養学」「臨床栄養学実習」「公衆栄養学」等）、管理栄養士としての実践力向上を目指した3年次臨地実習系科目の教育効果を十分にあげられるよう配慮している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成31年8月 公表予定

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、大学基準協会会員大学及び私立大学連盟加盟大学などに各1冊を配布
- ・大学ホームページ上に公開予定（平成31年8月を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成30年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有) ・ (無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成29年 4月 25日)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人宮城学院

(2) 大学名

宮城学院女子大学

(3) 大学の位置

〒981-8557

宮城県仙台市青葉区桜ヶ丘九丁目1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(コバヤシ ノブオ) 小林 信夫 (平成25年1月)	(ミヤギ ミツノブ) 宮城 光信 (平成28年11月)	平成28年11月27日付任期満了のため(29)
学長	(ヒラカワ アラタ) 平川 新 (平成26年4月)		
学部長	(マサキ キョウスケ) 正木 恭介 (平成28年4月)	(ヤン シュアン) 巖 爽 (平成29年4月)	平成29年3月31日付任期満了のため(29)
学科長等	(オオクボ ナオコ) 大久保 尚子 (平成28年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
生活科学部 生活文化デザイン学科 学士(生活文化デザイン学)	家政学関係	4年	60人	- 年次人	240人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	60人 () []	-人 () []	60人 () []	-人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	0.96倍	
志願者数	127 () []	- () []	101 () []	- () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
受験者数	126 () []	- () []	100 () []	- () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
合格者数	105 () []	- () []	89 () []	- () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
B 入学者数	65 () []	- () []	51 () []	- () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	1.08		0.85							

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	65 [-] (-)	- [-] (-)	51 [-] (-)	- [-] (-)					
2年次	/		64 [-] (-)	- [-] (-)					
3年次	/		/						
4年次	/		/		/				
計	65 [-] (-)		115 [-] (-)						

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	65 人	1 人	平成28年度	1 人	0 人	進路変更(1人)	1.53 %
			平成29年度	0 人	0 人		
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成29年度 入学者	51 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成30年度 入学者	- 人	- 人	平成30年度	人	人		- %
			平成31年度	人	人		
平成31年度 入学者	- 人	- 人	平成31年度	人	人		- %
合 計	116 人	1 人					0.86 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<生活科学部 生活文化デザイン学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
人文社会系科目	キリスト教学	1前	2								兼1	オムニバス	
	キリスト教と現代社会	1後	2								兼1		
	基礎演習	1前	2								兼25		
	日本語演習	1前	2								兼12 担当者変更のため(29)		
	女性と人権	1前	2								兼13		
	音楽の世界	1前	2								兼1		
	社会保障と福祉	1後	2								兼1		
	教養講義A	1後	2								兼2		
	教養講義B	2前	2								兼8		
	特殊研究	3・4前・後		2			1				兼6		
	キャリア形成論	4後		2							兼18		
	日本国憲法	3前		2							兼1		
	自然科学科目	自然科学入門	1前	2									兼1
		科学技術論	3前	2									兼1
科目総合	総合コースA	2後		4							兼4	オムニバス	
	総合コースB	2後		4							兼4	オムニバス	
	総合コースC	2後		4							兼4	オムニバス	
	総合コースD	2後		4							兼4	オムニバス	
	総合コースE	2後		4							兼4	オムニバス	
一般教育科目	外国語科目	英語コミュニケーションⅠ	1前	1							兼4	担当者変更のため(28)	
		英語コミュニケーションⅡ	1後	1							兼5		
		英語リテラシーⅠ	2前	1							兼4		
		英語リテラシーⅡ	2後	1							兼5		
		スキルアップ英語	2・3・4前・後		1						兼7		
		ドイツ語コミュニケーションⅠ	1前		1						兼1		
		ドイツ語コミュニケーションⅡ	1後		1						兼1		
		ドイツ語リテラシーⅠ	1前		1						兼1		
		ドイツ語リテラシーⅡ	1後		1						兼1		
		フランス語コミュニケーションⅠ	1前		1						兼1		
		フランス語コミュニケーションⅡ	1後		1						兼1		
		フランス語リテラシーⅠ	1前		1						兼1		
		フランス語リテラシーⅡ	1後		1						兼1		
		中国語コミュニケーションⅠ	1前		1						兼4		
		中国語コミュニケーションⅡ	1後		1						兼4		
		中国語リテラシーⅠ	1前		1						兼2		
		中国語リテラシーⅡ	1後		1						兼2		
スキルアップドイツ語	2・3・4前・後		1							兼2 担当者変更のため(29)			
スキルアップフランス語	2・3・4前・後		1							兼3			
スキルアップ中国語	2・3・4前・後		1							兼3			
体育科目	体育講義	1前	1								兼1	誤記入の修正(28)	
	体育実技	1前	1								兼1		
	シーズンスポーツ	1・2・3・4前・後		4	1						兼2		
	スポーツ	2・3・4後		4	1						兼1		
理論科目	生活文化デザイン入門	1前	2			3	3					担当者変更のため(29)	
	衣生活文化論	1前	2			4	2					オムニバス	
	住生活文化論	1後	2			1							
	住生活環境論	1前		2		1							
	家族論	1前		2		4	1					担当者変更のため(29)	
	生活経済学	1後		2		1					兼1		
	基礎数理	2後		2		1	4					担当者変更のため(29)	
	キャリアデザインⅠ(自己分析・人生観・職業観)	1後		2							兼1		
	キャリアデザインⅡ(生活と家族の法学)	2後		2							兼1		
	キャリアデザインⅢ(企業研究)	3前		2		1					兼3	オムニバス	

専門基礎科目	実践科目	情報処理基礎演習	1前	2					兼1	担当者変更のため(28)		
		製図基礎演習	1前		2			1	兼1			
		CAD演習	1後		2				兼2			
		造形数理	1後		2			1	兼1			
		生活文化基礎演習	2前	2			3	3			担当者変更のため(29)	
		生活情報デザイン演習	2前		2		4	2			担当者変更のため(29)	
		生活プロダクツ概説	2前		2			1	兼1		担当者変更のため(29)	
		色彩心理	2後		2				兼1			
		生活造形論	2後		2			1				
		福祉住環境論	4後		2			1				
		インテリアコーディネート特論Ⅰ	3前		2				兼1			
		インテリアコーディネート特論Ⅱ	3後		2				兼1			
		サスティナブルデザイン論	3後		2			1				
		環境文化見学実習	3前		1			2				
		専門教育科目	生活文科系科目	ライフコース論	1後		2		1			
家族社会学A	2前				2		1		兼1			
家族社会学B	4前				2		1		兼1			
社会福祉論	3後				2				兼1			
消費経済学	2前				2				兼1			
マーケティング論	2後				2				兼1			
流通経済学	3前				2				兼1			
社会調査法演習	2後				2		4	1		担当者変更のため(29)		
服飾文化史Ⅰ	2前				2			1				
服飾文化史Ⅱ	2後				2			1				
服飾美学	3前				2			1				
現代ファッション論	4後				2			1				
衣服素材論	2前				2				兼1			
衣生活管理論	3前				2				兼1			
衣生活環境論	4前				2				兼1			
被服構成学	3後				2				兼1			
衣服製作基礎実習	1後				1				兼1			
被服構成実習A	2前				1				兼1			
被服構成実習B	3後				1				兼1			
生活造形実習	3前				1				兼1			
コマーススペースデザイン論	2後				2				兼1			
家具とインテリアの歴史	3前				2				兼1			
プレゼンテーションデザイン演習	3前				2				兼1			
ビジュアルデザイン演習	3後				2				兼1			
専門基幹科目	建築・インテリアデザイン系科目	住宅文化史Ⅰ	1後		2		1			開講期変更のため(29)		
		住宅文化史Ⅱ	2前		2		1					
		建築史	2後		2		1					
		インテリアデザイン論	1後		2			1				
		住居デザイン論	2前		2			1				
		住居計画	1前		2			1				
		建築計画	2後		2			1				
		建築一般構造	2前		2				4		兼1	担当者変更のため(29)
		建築環境学	3前		2			1				
		建築設備	4前		2			1				
		建築材料	3後		2				1			
		建築構造力学A	3前		2				4		兼1	担当者変更のため(28)
		建築構造力学B	4前		2						兼1	
		建築構造力学演習	3後		2						兼1	
		鉄筋コンクリート造・鋼構造	3後		2						兼1	
		建築環境学実験	3後		1			1				
		建築構造・材料学実験	4前		1				4		兼1	担当者変更のため(28)
		建築生産(施工・積算)	4後		2				4		兼1	担当者変更のため(28)
		建築法規	4前		2						兼1	担当者変更のため(29)
		デザイン演習Ⅰ(建築・インテリア)	2前		2			4	4			担当者変更のため(29)
デザイン演習Ⅱ(建築・インテリア)	2後		2				1	兼2	担当者変更のため(29)			
デザイン演習Ⅲ(建築・インテリア)	3前		2					兼2				
デザイン演習Ⅳ(建築・インテリア)	3後		2				1					
都市計画論(まちづくり)	4後		2					兼1				

教職 関連 科目	調理学実習Ⅰ	1前	1							兼 1
	調理学実習Ⅱ	1後	1							兼 1
	食物科学概論	2前	2							兼 1
	食品栄養学	3後	2							兼 1
	家庭ケア論	3後	2							兼 1
	家庭工学	4前	2							兼 1
キャリア 科目	キャリアデザイン	1・2・3・4前・後	1							兼 1
卒業 研究	卒業研究基礎演習Ⅰ	3前	2			5	2			
	卒業研究基礎演習Ⅱ	3後	2			5	2			
	卒業研究演習Ⅰ	4前	2			5	2			
	卒業研究演習Ⅱ	4後	2			5	2			
	卒業論文・設計	4通	4			5	2			

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	誤記入の修正
29	96 98	2	127	29	96	2	127	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{127} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考					
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	宮城学院高等学校・宮城学院中学校（必要面積14,400㎡）と共用（収容定員：高等学校780名、中学校480名）					
	校舎敷地	99,918㎡	0㎡	35,862㎡	135,780㎡						
	運動場用地	0㎡	16,028㎡	0㎡	16,028㎡						
	小 計	99,918㎡	16,028㎡	35,862㎡	151,808㎡						
	そ の 他	42,941㎡	0㎡	0㎡	42,941㎡						
	合 計	142,859㎡	16,028㎡	35,862㎡	194,749㎡						
(2) 校 舎	専 用	34,281㎡	0㎡	0㎡	34,281㎡	大学全体					
	(34,281㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(34,281㎡)							
(3) 教 室 等	講 義 室	44室	演 習 室	15室	実験実習室	96室	情報処理学習施設	7室	語学学習施設	2室	大学全体
							(補助職員 0人)			(補助職員 0人)	
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称				室 数						
	生活科学部				16		室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料	機械・器具	標 本	蔵書の増刷による冊数及び種類の増(28)			
		冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点	ビデオやレコード媒体の資料を整理したことによる点数の減(28)			
	生活科学部	406,482 [106,077] 406,482 [100,656] 404,891 [100,387]	11,558 [922] 11,349 [915] 10,443 [898]	56 [7] 60 [7] 65 [0]	7,486 7,322 9,070	226	37	蔵書の増刷による冊数及び種類の増(29)			
		(406,482 [106,077]) (406,482 [100,656]) (404,891 [100,387])	(11,558 [922]) (11,349 [915]) (10,443 [898])	(56 [7]) (60 [7]) (62 [0])	(7,486) (7,322) (9,070)	(226)	(37)	洋雑誌の価格高騰により購入予定数が減り、付随する電子ジャーナルの数が減少(29)			
計	406,482 [106,077] 406,482 [100,656] 399,899 [104,804]	11,558 [922] 11,349 [915] 10,443 [898]	56 [7] 60 [7] 62 [0]	7,486 7,322 9,070	226	37	学部単位での特定不能なため大学全体の数				
	(406,482 [106,077]) (406,482 [100,656]) (399,899 [104,804])	(11,558 [922]) (11,349 [915]) (10,443 [898])	(56 [7]) (60 [7]) (62 [0])	(7,486) (7,322) (9,070)	(226)	(37)					
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		書棚増設に伴う座席数の減及び収納可能冊数の増(28)				
	3,216㎡		269席 313席		346,778冊 346,056冊 333,583冊		棚数増に伴う収納可能冊数の増(29)				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要								
	1,737㎡		卓球場、温水プール、テニスコート、弓道場								
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費は、電子ジャーナル、印刷製本等の経費を含む		
		教員1人当り研究費等	527千円 703千円	527千円 703千円	図書購入費	-	2,228千円 2,190千円	8,915千円 8,760千円	事業計画に基づく修正(28)		
	共同研究費等	6,000千円	6,000千円	設備購入費	-	336千円 1,750千円	1,344千円 7,000千円				
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	学生納付金改定(28)			
		1,309千円 1,311千円	1,069千円 1,031千円	1,069千円 1,031千円	1,069千円 1,031千円	-	-				
学生納付金以外の維持方法の概要			手数料、寄付金収入、補助金収入、資産運用収入、私立大学経常費補助金 等								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	宮城学院女子大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
生活科学部									
食品栄養学科	4	100	-	400	学士 (食品栄養学)	1.03	平成28年度	宮城県仙台市青葉区 桜ヶ丘9-1-1	
生活文化デザイン学科	4	60	-	240	学士 (生活文化デザイン学)	0.96	平成28年度	同上	
教育学部									
教育学科	4	170	-	680	学士 (教育学)	1.07	平成28年度	同上	
幼児教育専攻	4	90	-	360	学士 (教育学)	0.99	平成28年度	同上	
児童教育専攻	4	50	-	200	学士 (教育学)	1.15	平成28年度	同上	
健康教育専攻	4	30	-	120	学士 (教育学)	1.20	平成28年度	同上	
現代ビジネス学部									
現代ビジネス学科	4	95	-	380	学士 (ビジネス学)	1.04	平成28年	同上	
学芸学部									
日本文学科	4	100	-	400	学士 (日本文学)	0.99	昭和39年度	同上	
英文学科	4	70	-	280	学士 (英文学)	0.98	昭和24年度	同上	
人間文化学科	4	70	-	280	学士 (人間文化学)	0.75	平成7年度	同上	
心理行動科学科	4	60	-	240	学士 (心理学)	1.10	平成19年度	同上	
音楽科	4	25	-	100	学士 (音楽)	0.76	昭和24年度	同上	
国際文化学科	4	-	-	-	学士 (国際文化学)	-	平成12年度	同上	平成28年度学生募集停止
食品栄養学科	4	-	-	-	学士 (食品栄養学)	-	平成12年度	同上	平成28年度学生募集停止
生活文化デザイン学科	4	-	-	-	学士 (生活文化デザイン学)	-	平成12年度	同上	平成28年度学生募集停止
発達臨床学科	4	-	-	-	学士 (発達臨床学)	-	平成12年度	同上	平成28年度学生募集停止
児童教育学科	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	平成19年度	同上	平成28年度学生募集停止
人文科学研究科									
英語・英米文学専攻	2	4	-	8	修士 (英文学)	0.00	平成7年度	同上	
日本語・日本文学専攻	2	4	-	8	修士 (日本文学)	0.37	平成7年度	同上	
人間文化学専攻	2	4	-	8	修士 (人間文化学)	0.62	平成11年度	同上	
生活文化デザイン学専攻	2	4	-	8	修士 (生活文化デザイン学)	0.12	平成17年度	同上	
健康栄養学研究科									
健康栄養学専攻	2	4	-	8	修士 (健康栄養学)	1.25	平成20年度	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<生活科学部 生活文化デザイン学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	大久保 尚子 (52)	平成28年4月	生活文化デザイン入門 衣生活文化論 生活文化基礎演習 生活造形論 服飾文化史Ⅰ 服飾文化史Ⅱ 服飾美学 現代ファッション論 卒業研究基礎演習Ⅰ 卒業研究基礎演習Ⅱ 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業論文・設計						
専	教授	飯淵 康一 (69)	平成28年4月	住生活文化論 住宅文化史Ⅰ 住宅文化史Ⅱ 建築史 卒業研究基礎演習Ⅰ 卒業研究基礎演習Ⅱ 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業論文・設計						
専	教授	浅野(上野) 富美枝 (67)	平成28年4月	生活文化デザイン入門 家族論 キャリアデザインⅢ(企業研究) 生活文化基礎演習 ライフコース論 家族社会学A 家族社会学B 社会調査法演習 卒業研究基礎演習Ⅰ 卒業研究基礎演習Ⅱ 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業論文・設計	専	准教授	藤田 嘉代子 (47)	平成29年4月	生活文化デザイン入門 家族論 キャリアデザインⅢ(企業研究) 生活文化基礎演習 ライフコース論 家族社会学A 家族社会学B 社会調査法演習 卒業研究基礎演習Ⅰ 卒業研究基礎演習Ⅱ 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業論文・設計	平成29年3月退職による担当者変更(29)
専	教授	本間 義規 (47)	平成28年4月	生活文化デザイン入門 住生活環境論 生活文化基礎演習 サステナブルデザイン論 環境文化見学実習 建築環境学 建築設備 建築環境学実験 卒業研究基礎演習Ⅰ 卒業研究基礎演習Ⅱ 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業論文・設計						基礎教理 担当者変更のため(29)

専	教授	敵(石井) 爽 (45)	平成28年4月	生活文化デザイン入門 生活文化基礎演習 福祉住環境論 環境文化見学実習 住居計画 建築計画						
				デザイン演習Ⅰ(建築-インテリア)	専 准教授	安田 直民 (44)	平成29年4月	デザイン演習Ⅰ(建築-インテリア)	担当者変更のため(29)	
専	准教授	松村 光太郎 (48)	平成28年4月	特殊研究 生活文化デザイン入門 基礎数理 造形数理 生活文化基礎演習 建築一般構造 建築材料	専 准教授	安田 直民 (44)	平成28年4月	特殊研究 生活文化デザイン入門 基礎数理 造形数理 生活文化基礎演習 建築一般構造 建築材料	担当者変更のため(29) 平成27年9月退職による担当者変更(28)	
				建築構造力学A	兼任 講師	野澤 壽一 (51)	平成28年4月	建築構造力学A	平成27年9月退職による担当者変更(28)	
専	准教授	須田 真史 (48)	平成28年4月	建築構造・材料学実験 建築生産(施工・積算)	兼任 講師	後任未定	平成31年4月	建築構造・材料学実験 建築生産(施工・積算)	平成27年9月退職による担当者変更(28)	
				卒業研究基礎演習Ⅰ 卒業研究基礎演習Ⅱ 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業論文・設計	専 准教授	安田 直民 (44)	平成28年4月	卒業研究基礎演習Ⅰ 卒業研究基礎演習Ⅱ 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業論文・設計	平成27年9月退職による担当者変更(28)	
専	准教授	須田 真史 (48)	平成28年4月	生活文化デザイン入門 生活文化基礎演習 インテリアデザイン論 住居デザイン論						
				デザイン演習Ⅰ(建築-インテリア) デザイン演習Ⅱ(建築-インテリア) 卒業研究基礎演習Ⅰ 卒業研究基礎演習Ⅱ 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業論文・設計						
兼任	教授	鈴木 雅之 (68)	平成28年4月	教養講義B						
兼任	教授	渡辺 徹 (68)	平成28年4月	教養講義B						
兼任	教授	齋藤 淑子 (67)	平成28年4月	基礎演習						
兼任	教授	安部 新一 (66)	平成28年4月	基礎演習 生活経済学 流通経済学						
兼任	教授	菊池 勇夫 (65)	平成28年4月	基礎演習 教養講義A 特殊研究 総合コースA						
兼任	教授	高田 紀代志 (65)	平成28年4月	特殊研究	兼任 准教授	栗原 健 (42)	平成29年4月	特殊研究	平成29年3月退職による担当者変更(29)	
兼任	教授	熊谷 優克 (64)	平成28年4月	特殊研究				英語リテラシーⅠ 英語リテラシーⅡ	担当者変更のため(29)	
兼任	教授	平本 福子 (64)	平成28年4月	基礎演習						

兼担	教授	森 雅彦 (64)	平成28年4月	基礎演習 教養講義A 特殊研究						
兼担	教授	伊狩 弘 (64)	平成28年4月	教養講義B						
兼担	教授	J. F. モリス (63)	平成28年4月	教養講義A						
兼担	教授	高橋 英博 (63)	平成28年4月	特殊研究						
兼担	教授	田中 史郎 (63)	平成28年4月	基礎演習 教養講義A						
兼担	教授	新免 貢 (62)	平成28年4月	特殊研究 総合コースE						
兼担	教授	山岸 喜久治 (62)	平成28年4月	基礎演習 教養講義A 特殊研究 日本国憲法						
兼担	教授	熊坂 聡 (61)	平成28年4月	社会保障と福祉						
兼担	教授	佐々木 隆之 (61)	平成28年4月	教養講義B	兼担	准教授	森 康浩 (32)	平成29年4月	教養講義B	担当者変更のため (29)
兼担	教授	大平 聡 (60)	平成28年4月	基礎演習 総合コースA						
兼担	教授	星 祐二 (60)	平成28年4月	食品栄養学						
兼担	教授	遊佐 典昭 (59)	平成28年4月	基礎演習						
兼担	教授	天童 睦子 (59)	平成28年4月	女性と人権 キャリア形成論 キャリアデザイン						
兼担	教授	正木 恭介 (58)	平成28年4月	教養講義B						
兼担	教授	八木 祐子 (57)	平成28年4月	基礎演習 教養講義A	兼担	教授	市野澤 潤平 (46)	平成29年4月	教養講義A	担当者変更のため (29)
兼担	教授	工藤 敏巳 (55)	平成28年4月	体育講義 シーズンスポーツ スポーツ						
兼担	教授	志村 文隆 (54)	平成28年4月	総合コースA						
兼担	教授	姚(夏目) 国利 (54)	平成28年4月	基礎演習						
兼担	教授	今林 直樹 (53)	平成28年4月	基礎演習 特殊研究						
兼担	教授	田中 一裕 (52)	平成28年4月	特殊研究 自然科学入門 総合コースB						

兼任	教授	深澤 昌夫 (52)	平成28年4月	特殊研究						
兼任	教授	近松 健 (51)	平成28年4月	特殊研究 総合コースB						
兼任	教授	吉村 典子 (50)	平成28年4月	基礎演習						
兼任	教授	土屋 純 (45)	平成28年4月	基礎演習 教養講義A						
兼任	教授	大橋 智樹 (45)	平成28年4月	特殊研究						
兼任	教授	小羽田 誠治 (40)	平成28年4月	基礎演習 特殊研究 スキルアップ中国語						
兼任	准教授	木村 春美 (56)	平成28年4月	特殊研究 英語リテラシーⅠ 英語リテラシーⅡ						
								英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	担当者変更のため (29)	
兼任	准教授	佐々木 ルリ 子 (55)	平成28年4月	基礎演習	教授					平成28年4月1日付昇任による職名の変更 (28)
兼任	准教授	増富 和浩 (54)	平成28年4月	基礎演習 総合コースD						
兼任	准教授	杉井 信 (53)	平成28年4月	基礎演習 特殊研究						
兼任	准教授	井坂 (松川) 恵 (52)	平成28年4月	音楽の世界						
兼任	准教授	鎌田 由香 (50)	平成28年4月	基礎演習						
兼任	准教授	間瀬 (箕輪) 幸江 (48)	平成28年4月	基礎演習 特殊研究 総合コースD スキルアップフランス語						
兼任	准教授	丹野 久美子 (48)	平成28年4月	基礎演習						
兼任	准教授	太田 峰夫 (46)	平成28年4月	教養講義B						
兼任	准教授	市野澤 潤平 (45)	平成28年4月	基礎演習 特殊研究	教授					平成29年4月1日付昇任による職名の変更 (29)
兼任	准教授	櫻井 美幸 (44)	平成28年4月	基礎演習						
兼任	准教授	木口 寛久 (43)	平成28年4月	英語リテラシーⅠ 英語リテラシーⅡ スキルアップ英語						
兼任	准教授	越門 勝彦 (42)	平成28年4月	教養講義A 総合コースB						
兼任	准教授	木野 (遠藤) 和 代 (42)	平成28年4月	基礎演習	教授					平成28年4月1日付昇任による職名の変更 (28)
兼任	准教授	澤邊 裕子 (41)	平成28年4月	日本語演習	兼任 講師	島田 雄一郎 (32)	平成29年4月	日本語演習	担当者変更のため (29)	

兼任	准教授	友野 隆成 (39)	平成28年 4月	基礎演習							
兼任	助教	篠原 秀典 (32)	平成28年 4月	体育実技 シーズスポーツ							
兼任	講師	曾根 千雅子 (70)	平成28年 4月	被服構成実習B							
兼任	講師	花井 弘美 (70)	平成28年 4月	日本語演習							
兼任	講師	岩川 亮 (70)	平成28年 4月	スキルアップフランス語							
兼任	講師	一条 孝子 (69)	平成28年 4月	キャリアデザインI (総合研)・人志研 キャリアデザインⅡ (企業研究)							
兼任	講師	岩川 直子 (69)	平成28年 4月	ドイツ語コミュニケーションⅠ ドイツ語コミュニケーションⅡ							
兼任	講師	大島 徹 (69)	平成28年 4月	ドイツ語リテラシーⅠ ドイツ語リテラシーⅡ スキルアップドイツ語					スキルアップドイツ語	担当科目削除のため (29)	
兼任	講師	村山 和弘 (68)	平成28年 4月	衣生活管理論							
兼任	講師	大島 衣 (67)	平成28年 4月	総合コースC スキルアップドイツ語							
兼任	講師	Monika Kurokawa (67)	平成28年 4月	スキルアップドイツ語							
兼任	講師	鹿野 良子 (66)	平成28年 4月	日本語演習							
兼任	講師	菅原 耕一 (65)	平成28年 4月	日本語演習	兼任	講師	菅原 秀 (46)	平成28年 4月	日本語演習		担当者変更のため (28)
兼任	講師	Anthony Smith (65)	平成28年 4月	スキルアップ英語	兼任	講師	オーフラロティ 智美 (38)	平成29年 4月	スキルアップ英語		担当者変更のため (29)
兼任	講師	三浦 友悦 (64)	平成28年 4月	特殊研究							
兼任	講師	八幡 悦子 (64)	平成28年 4月	総合コースC							
兼任	講師	谷田部 武男 (64)	平成28年 4月	総合コースD							
兼任	講師	板垣 信哉 (64)	平成28年 4月	英語リテラシーⅠ 英語リテラシーⅡ	兼任	講師	酒井 孝之 (53)	平成29年 4月	英語リテラシーⅠ 英語リテラシーⅡ		担当者変更のため (29)
兼任	講師	佐藤 喜根子 (64)	平成28年 4月	総合コースB							
兼任	講師	Chutatip Yumitani (63)	平成28年 4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ					英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ		担当者変更のため (28)
兼任	講師	富田 昇 (63)	平成28年 4月	中国語リテラシーⅠ 中国語リテラシーⅡ							
兼任	講師	細倉 公一 (63)	平成28年 4月	日本語演習	兼任	講師	佐藤 千穂 (45)	平成28年 4月	日本語演習		担当者変更のため (28)

兼任	講師	植松 康 (61)	平成28年4月	建築構造力学B							
兼任	講師	岩崎 利次 (61)	平成28年4月	社会保障と福祉 社会福祉論							
兼任	講師	佐藤 京子 (60)	平成28年4月	調理学実習 I 調理学実習 II							
兼任	講師	屈 (屈原) 明昌 (60)	平成28年4月	中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ スキルアップ中国語							
兼任	講師	亀山 理恵子 (59)	平成28年4月	生活造形実習							
兼任	講師	久慈 るみ子 (59)	平成28年4月	衣生活環境論							
兼任	講師	付 小京 (59)	平成28年4月	中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ							
兼任	講師	宮下 ひろみ (57)	平成28年4月	食物科学概論							
兼任	講師	加藤 博子 (57)	平成28年4月	被服構成学 被服製作基礎実習 被服構成実習A							
兼任	講師	田中 真由美 (57)	平成28年4月	インテリアコーディネート特論Ⅱ							
兼任	講師	嘉山 益子 (56)	平成28年4月	家庭ケア論							
兼任	講師	佐藤 雅也 (56)	平成28年4月	総合コースA							
兼任	講師	今井 誠二 (55)	平成28年4月	キリスト教と現代社会	兼任	准教授	栗原 健 (42)	平成29年4月	キリスト教と現代社会	担当者変更のため (29)	
兼任	講師	邑本 俊亮 (54)	平成28年4月	総合コースD							
兼任	講師	西川 重和 (52)	平成28年4月	衣服素材論							
兼任	講師	野角 光治 (52)	平成28年4月	家庭工学							
兼任	講師	上羽 広明 (52)	平成28年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ スキルアップ英語					英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	担当者変更のため (28)	
兼任	講師	加藤 久美子 (52)	平成28年4月	英語リテラシーⅠ 英語リテラシーⅡ スキルアップ英語					英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語リテラシーⅠ 英語リテラシーⅡ スキルアップ英語	担当者変更のため (28) 担当者変更のため (29)	
兼任	講師	小原 豊志 (52)	平成28年4月	英語リテラシーⅠ 英語リテラシーⅡ スキルアップ英語	兼任	講師	木村 真紀子 (57)	平成29年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語リテラシーⅠ 英語リテラシーⅡ	担当者変更のため (28) 担当者変更のため (29)	
兼任	講師	趙 秀敏 (52)	平成28年4月	中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ							

兼任	講師	野澤 壽一 (51)	平成28年4月	建築構造力学演習						
兼任	講師	藤田 宏紀 (51)	平成28年4月	キリスト教学	兼任	准教授	栗原 健 (42)	平成29年4月	キリスト教学	担当者変更のため (29)
兼任	講師	関根 多美 (51)	平成28年4月	日本語演習						
兼任	講師	伊勢 恵 (50)	平成28年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ スキルアップ英語	兼任	講師	伊勢一恵 (50)	平成28年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ スキルアップ英語	担当者辞退のため (29)
兼任	講師	木村 敏明 (50)	平成28年4月	総合コースE						
兼任	講師	大西 克巳 (50)	平成28年4月	スキルアップ中国語						
兼任	講師	平岡 善浩 (50)	平成28年4月	デザイン演習Ⅲ(建築・インテリア)						
兼任	講師	玉山 直美 (49)	平成28年4月	キャリアデザインⅡ(生活と職業の法則)						
兼任	講師	梅田 かおり (49)	平成28年4月	キャリアデザインⅡ(企業研究) 生活プロダクツ概説 インテリアコーディネーター特論Ⅰ コマーススペースデザイン論						
兼任	講師	森 学 (49)	平成28年4月	プレゼンテーションデザイン演習 ビジュアルデザイン演習						
兼任	講師	手島 浩之 (49)	平成28年4月	デザイン演習Ⅲ(建築・インテリア)						
兼任	講師	後藤(木立) 厚 子 (48)	平成28年4月	消費経済学						
兼任	講師	盧 慶美 (48)	平成28年4月	色彩心理						
兼任	講師	Jim Smiley (47)	平成28年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	兼任	講師	山田一恵 (50)	平成28年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	担当者辞退のため (29) 担当者変更のため (28)
兼任	講師	翠川 博之 (47)	平成28年4月	フランス語リテラシーⅠ フランス語リテラシーⅡ						
兼任	講師	張 立波 (47)	平成28年4月	中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ						
兼任	講師	西村 直子 (46)	平成28年4月	総合コースE						
兼任	講師	許 雷 (45)	平成28年4月	CAD演習						
兼任	講師	千葉 幸一郎 (44)	平成28年4月	日本語演習	兼任	講師	油座 圭祐 (31)	平成28年4月	日本語演習	担当者変更のため (28)
兼任	講師	木村 美紀子 (44)	平成28年4月	日本語演習						
兼任	講師	増井 三千代 (44)	平成28年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ スキルアップ英語					英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	担当者変更のため (28)

兼任	講師	谷山 洋三 (44)	平成28年4月	総合コースE						
兼任	講師	森 路未央 (43)	平成28年4月	マーケティング論						
兼任	講師	安藤 明伸 (42)	平成28年4月	情報処理基礎演習						
兼任	講師	初山 高仁 (42)	平成28年4月	科学技術論						
兼任	講師	榑原 進 (42)	平成28年4月	都市計画論(まちづくり)						
兼任	講師	野中(平手) みどり (41)	平成28年4月	フランス語コミュニケーションⅠ フランス語コミュニケーションⅡ スキルアップフランス語						
兼任	講師	高橋 秀太郎 (41)	平成28年4月	日本語演習	兼任	講師	木村 美紀子 (45)	平成29年4月	日本語演習	担当者変更のため(29)
兼任	講師	石井 順子 (40)	平成28年4月	デザイン演習Ⅲ(建築・インテリア)	専	准教授	安田 直民 (44)	平成29年4月	デザイン演習Ⅲ(建築・インテリア)	担当者変更のため(29)
兼任	講師	錦織 真也 (40)	平成28年4月	デザイン演習Ⅲ(建築・インテリア)						
兼任	講師	木曾(大和 田) 恵子 (39)	平成28年4月	総合コースC						
兼任	講師	敷田 弘子 (38)	平成28年4月	家具とインテリアの歴史						
兼任	講師	鈴木 寛子 (38)	平成28年4月	日本語演習						
兼任	講師	齋藤 和哉 (37)	平成28年4月	生活情報デザイン演習 製図基礎演習	兼任	講師	齋藤 和哉 (37)	平成28年4月	製図基礎演習	担当者変更のため(29)
					専	准教授	安田 直民 (44)	平成29年4月	生活情報デザイン演習	担当者変更のため(29)
兼任	講師	菅原 尚樹 (36)	平成28年4月	中国語リテラシーⅠ 中国語リテラシーⅡ						
兼任	講師	捧(山口) 奈 緒美 (36)	平成28年4月	建築法規						
兼任	講師	池永 昌容 (35)	平成28年4月	鉄筋コンクリート造・鋼構造						
兼任	講師	岡崎 浩二 (35)	平成28年4月	キャリアデザインⅢ(企業研究)						
兼任	講師	河内 聡子 (34)	平成28年4月	日本語演習						
兼任	講師	渡部 容子 (34)	平成28年4月	総合コースC	兼任	講師	高橋 芳代子 (38)	平成29年4月	総合コースC	担当者変更のため(29)
兼任	講師	岸本 洋輔 (33)	平成28年4月	日本語演習	兼任	講師	渡邊 美希 (29)	平成29年4月	日本語演習	担当者変更のため(29)
兼任	講師	土岐 文乃 (33)	平成28年4月	製図基礎演習	兼任	講師	土岐 文乃 (33)	平成28年4月	製図基礎演習	平成28年3月辞退のため (28)

兼任 講師	坂喜 美佳 (30)	平成28年4月	日本語演習	兼任 講師	大木 葉子 (47)	平成29年4月	日本語演習	担当者変更のため (29)
				兼任 講師	藤掛 由実子 (55)	平成29年4月	英語リテラシーⅠ 英語リテラシーⅡ スキルアップ英語	担当者追加のため (29)
				兼任 講師	オーフロロティ 智美 (38)	平成29年4月	英語リテラシーⅠ 英語リテラシーⅡ	担当者追加のため (29)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
7	4
名	名

- (注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2)-② 専任教員数

設置時の計画					現在(報告書提出時)の状況					現在(報告書提出時)の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
5	2	0	0	7	4	3	0	0	7	4	3	0	0	7
(5)	(2)	(0)	(0)	(7)						[Δ1]	[1]	[0]	[0]	[0]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(A))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(B))の教員うち、定年を延長して採用する教員数
67	1	1
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
1	准教授	松村 光太郎	選択	特殊研究	①	割愛による退職のため就任辞退（28）				
			必修	生活文化デザイン入門	①					
			選択	基礎数理	①					
			選択	造形数理	①					
			必修	生活文化基礎演習	①					
			選択	建築一般構造	①					
			選択	建築材料	①					
			選択	建築構造力学A	②					
			選択	建築構造・材料学実験	③					
			選択	建築生産(施工・積算)	③					
			必修	卒業研究基礎演習Ⅰ	①					
			必修	卒業研究基礎演習Ⅱ	①					
			必修	卒業研究演習Ⅰ	①					
			必修	卒業研究演習Ⅱ	①					
			必修	卒業論文・設計	①					
合計(A)			後任補充状況の集計(B)							
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)	②の合計数(b)	③の合計数(c)			
1	人	必修	7	科目	必修	7	科目	必修	0	科目
		選択	8	科目	選択	5	科目	選択	1	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	15	科目	計	12	科目	計	1	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	教授	浅野(上野) 富美枝	必修	生活文化デザイン入門	①	契約期間満了のため退職 (29)				
			選択	家族論	①					
			選択	キャリアデザインⅢ(企業研究)	①					
			必修	生活文化基礎演習	①					
			選択	ライフコース論	①					
			選択	家族社会学A	①					
			選択	家族社会学B	①					
			選択	社会調査法演習	①					
			必修	卒業研究基礎演習Ⅰ	①					
			必修	卒業研究基礎演習Ⅱ	①					
			必修	卒業研究演習Ⅰ	①					
			必修	卒業研究演習Ⅱ	①					
			必修	卒業論文・設計	①					
合計 (C)					後任補充状況の集計 (D)					
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
1	人	必修	7	科目	必修	7	科目	必修	0	科目
		選択	6	科目	選択	6	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	13	科目	計	13	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)				後任補充状況の集計 (B) + (D)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
2	人	必修	14	科目	必修	14	科目	必修	0	科目
		選択	14	科目	選択	11	科目	選択	1	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	28	科目	計	25	科目	計	1	科目

- (注) ・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職した教員の担当科目については他の教員によって開講されることとなっているので、学生の履修に関しては問題ないとする。学生へは、シラバスによって当該科目の担当教員を確認できるようになっている。
 退職した教員の後任として同分野の専任教員が着任し、科目を担当することとなっているので、学生の履修に関しては問題ないとする。学生へは、シラバスによって当該科目の担当教員を確認できるようになっている。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (28年 5月)	・完成年度前に、定年規定に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規定の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。	留意事項	・完成年度までに定年に達する者を配置することから、完成年度以後の教員組織構想としては、開設後4年間の中堅及び若手教員の育成状況を踏まえた学内昇格や新規採用など、教員組織に関する中期的な人事計画を策定することとしている。 また、定年延長教員の退職に伴う教員採用については、他の大学等の現任教員や現在、大学院の修士課程や博士課程に在学している者を対象として広く候補者を募ることとし、本学の教員選考規程等で定める審査基準に基づいて、厳格なる審査を経て採用することとしている。
	・学芸学部人間文化学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。		
設置計画履行状況 調 査 時 (29年2月)	生活科学部生活文化デザイン学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見	定年延長教員の退職及び後任となる教員の補充を行ったことで、教員組織の年齢構成については、40歳～49歳5人、50歳～59歳1人、60歳以上1人となった。当初計画から40歳～49歳1人増、60歳以上1人減となる。 開設後4年間の中堅及び若手教員の育成状況を踏まえた学内昇格や新規採用など、教員組織に関する中期的な人事計画を策定することとしていることから、教育研究の継続性および専門性を踏まえ、教育研究に支障のない教員組織を編成するため、学科の意見をもとに適正な人員の補充計画等の検討を実施した。
	同一設置者が設置する既設学部等（学芸学部人間文化学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<生活科学部 生活文化デザイン学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
該当なし	該当なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2016年4月より、大学組織改編に伴い「宮城学院Faculty Development推進委員会」を宮城学院女子大学教務センターの小委員会である「FD推進委員会」として設置。委員会規程は別添。 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2017年度は3回開催 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本学の教育に係る状況の把握 ・ 授業評価アンケート実施方法について ・ 効果的なFD企画の検討 ・ FD企画の実施 ・ その他、本学のFDの推進に関する事項 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学生による個別授業評価アンケートの実施 ・ 学生による大学満足度アンケートの実施 ・ 学生への学修実態調査の実施 ・ 学内研修会の開催 ・ FD通信の発行 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ポータルサイトを通して、学生による各種アンケートを実施。 ・ FDに関する研修会を企画し実施。 ・ FD通信は委員会・研修会・各種アンケート結果の内容を盛り込み、適時発行

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 学生による個別授業評価アンケートは前期・後期の最終授業までに各教員が実施
- ・ 前後期学期末に、学生へ学修実調査を実施
- ・ 学生による大学満足度アンケートは卒業判定後に、卒業生を対象に実施
- ・ 学内における研修会

2016年6月7日「宮城学院女子大学の授業評価制度の現状と課題」 学長戦略室と共催

2016年7月6日「2015年度個別授業評価 教員所属学科別平均データの分析」・「COC+」に係るFD研修会 学長戦略室と共催

2016年8月3日「『教育の質保障』実践セミナー報告」学長戦略室と共催

2016年9月21日「発達障害のある学生について」 学生相談・特別支援センター運営会議と共催

2016年10月19日「インターネットの危険と対策 ソーシャルネットワーク(SNS)に潜むトラブルを未然に防ぐために」
ハラスメント防止委員会と共催

2016年11月16日「他大学の教育改革事例に学ぶ:共愛学園前橋国際大学」 学長戦略室と共催

2016年12月14日「聴覚障害や視覚障害等の特別支援について」・「精神障害の特別支援について」
学生相談・特別支援センター運営会議と共催

2017年1月25日「東日本大学間連携組織『FDネットワーク“つばさ”概略』

2017年2月9日「三つのポリシーの策定・公表の義務化 研修会報告」 学長戦略室と共催

2017年2月22日「志願者確保のための心理行動科学科の取り組み」 学長戦略室と共催

2017年3月11日「現代ビジネス学科での1年～「現代ビジネス基礎Ⅰ」を通して～」

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

個別授業評価アンケートを実施し、各教員がその結果をそれぞれの授業改善に役立っている。また学生の学修についてもアンケート調査を行い、学内で共有している。

学内研修会の開催により、情報を共有し、共通の意識をもって組織的に改善に取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ 前期と後期それぞれで専任教員の講義形式の授業を対象に実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 各教員へ報告書を配布

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

生活文化デザイン学科では、生活文化デザイン学分野に関する教育研究を通して、「家族社会学、生活経済学、被服学、住居（建築）学などを中心とした生活科学の諸知識を理解し、環境、文化、社会の視点から生活を総合的に捉え、家庭や地域の生活を主体的に創造する能力と実践的な態度を有した職業人の養成を目指すことにより、地域社会の生活の質の向上と社会の発展に寄与する」ことを教育研究上の目的としている。

開設2年目となる今年度の入学者は51名であった。アドミッションポリシーおよび学科定員遵守を念頭におき、入学選抜試験の実施・合否判定を行ったが、入学定員60名を下回る入学者数となった。今後は広報活動などで定員確保するに努める。

生活文化デザイン学科の教育課程編成は、既設の学芸学部生活文化デザイン学科において展開してきた生活文化学分野の教育内容を基盤として、「生活文化学の学問体系の理解の基に、人間生活における人間と環境や文化と社会の相互作用について理解し、生活に必要な知識と技術の習得とそれらを総合的に実践する応用能力を身に付けるとともに、生活を取り巻く諸課題を主体的かつ合理的に解決し、生活の質の向上と社会の発展に貢献できる人材の養成」を目指したものとなっており、開設1年目となる今年度は、学科全学生に共通に身につけさせるべき「専門基礎科目」を中心に開講している。このうち理論科目では「生活文化デザイン入門」をはじめとする各専門分野の基礎理論とともに、4年間の専門教育と自身のキャリアデザインの関係を考える土台を作る「キャリアデザインⅠ」など、実践科目では「情報処理基礎演習」「製図基礎演習」などを開講している。また専門教育の中心となる「専門基幹科目」のうち、「ライフコース論」「住居計画」など基礎的な内容の講義科目も開講し、2年次以降の学修につなげることを意図している。

次年度は、「キャリアデザインⅡ」や、総合的、実践的な学びの土台となる「生活文化基礎演習」「生活情報演習」などの専門基礎科目に加え、専門基幹科目の生活文化系、建築・インテリアデザイン系、両科目群の一部も併行して開講することとし（「家族社会学A」「消費経済学」「衣服素材論」「建築計画」「建築一般構造」「デザイン演習Ⅰ・Ⅱ（建築・インテリア）」等）、学生各自の選択する専門領域の理論と実践手法の学修を深めてゆく3年次の教育効果を十分にあげられるよう配慮している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成31年8月 公表予定

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し、大学基準協会会員大学及び私立大学連盟加盟大学などに各1冊を配布
・大学ホームページ上に公開予定（平成31年8月を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・平成30年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有) ・ (無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成29年 4月 25日)